

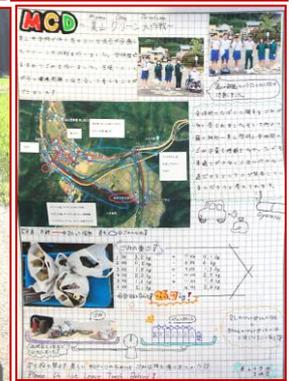
地域や家庭の力を蓄えた生徒が小学生を巻き込んで環境保全に尽くす

農林水産大臣賞 福井県 福井市美山中学校

町の総面積の90%が山林地帯で、鮎釣りのメッカ、足羽川が山あいを流れる美山町。その豊かな自然に抱かれるように建つ同校では代々、「ふるさと美山をきれいにしよう！」という思いを継承、地域一体となった環境保全に取り組む。その一つが、「フラワーロード奉仕活動」だ。住民とともに年2回、国道沿いを中心に季節の花植え、除草、後始末などを行う。年々高齢化が加速する中、生徒の協力は欠かせず、住民は生徒の成長を見守る貴重な機会にもなっている。

そんな交流が築かれた地域を2004年、福井豪雨が襲った。町は甚大な被害を受け、同校も1階や体育館が浸水。当時の生徒は、奉仕活動で培った精神を発揮し復興に尽力、その翌年からは「親子奉仕作業」がスタートした。校舎の念入りの清掃や足羽川堤防の草刈りに親子で取り組む。参加した保護者は同校卒業生も多く、自分の子どもといっしょに母校を磨くことに意義を実感。地域美化に貢献する住民の協力体制も整う中で、生徒は自発的に「美山クリーン大作戦」を企画し実施した。縦割り班を組みポイ捨てごみを回収し、クイズを解きながら楽しく活動することが狙いで始めたが、学年を超えた交流が活発化し、評判を呼んだ。ごみは想像以上に多く、掃除機やタイヤといった粗大ごみもあったことに驚いた生徒は、ごみの実態をまとめたポスターを作成し、地域に配布。手ごたえをつかんだ生徒は、普段交流の機会がない小学生にも声をかけ、翌年は規模を広げ、校区の3つの小学校と合同で「SDGsアドベンチャー」を行った。美山クリーン大作戦をベースに取り組み、小学生を終始リードしながら美山の自然を身近に感じ共に美化意識を育んだ。

こうした活動成果を50年近く発信する舞台がある。東京に本社がある前田建設工業株式会社だ。創業者が旧美山町出身の縁で毎年、生徒が会社訪問し、社長にプレゼンする。ものおじすることなく意欲的に挑む生徒の行動力に、福井市美山公民館の館長井村彰男さんは、「家庭の力、地域の力が根っこにあるから子どもたちは活躍の場を広げることができる」と感心する。地域のために小学生といっしょに新たなことに取り組もう一持ち前のチャレンジ精神を生かし、生徒は来年に向けて実施したい活動の構想を着々と描く。



福井県 福井市美山(みやま) 中学校

学校長：竹野 亨(たけの とおる)

生徒数：62名(2024年11月末現在)

住所：福井県福井市美山町9-14

電話：0776-90-3020

アクセス：JR 越美北線「美山駅」より徒歩約5分

上：林業が盛んな美山町の豊かな自然景観、2左：福井豪雨で甚大な被害を受けた同校、2右：地域住民と取り組むフラワーロード奉仕活動、3左：生徒が企画し小学生とともに取り組んだSDGsアドベンチャーの様子、3右：ごみの現状を伝える生徒手づくりのポスター、下：前田建設工業の社長の前で堂々とプレゼンする生徒